

カヌー・ジャパンカップ

CANOE
JAPAN CUP



カヌーの国内主要大会であるジャパンカップ（日本カヌー連盟・市実行委員会主催）が、7月27日・28日に奥州いさわかヌー競技場で開かれました。本市で3回目となる今年は、急流を一気にこぎ下るワイルドウォーター競技2種目に11人、回転競技のスラローム競技5種目に69人・3組がエントリー。全国から集まったトップクラスの選手が流れの激しいコースに挑戦し、観客からは熱い声援が送られました。



①連日大勢の観客が詰め掛けた ②③ワイルドウォーター競技に出場した本県の山田菜未選手と齋藤晶文選手 ④ひととき大きな声援を受ける地域おこし協力隊の藤野浩太選手 ⑤ジュニアの選手も奮闘 ⑥2020東京オリンピック出場が期待されるスラローム競技女子カヌー優勝の竹下百合子選手 ⑦息の合った男女混合ペア ⑧地元の岩瀬政浩選手は2種目に出場



⑨ゴールを正面に捉えラストスパート ⑩コースデザイナーの佐々木翼さん（奥州市在住）はレース実況の解説で盛り上げた ⑪藤野浩太選手が選手宣誓 ⑫おふるまいは胆沢名産のとろろそうめん ⑬特設プールでカヌーの体験も ⑭胆沢中学校の生徒が大会運営のボランティア ⑮若柳小学校には選手を迎える横断幕 ⑯建設業協会胆沢支部はコース周辺の草刈りで大会をバックアップ ⑰焼石クアパークひめかゆでは表彰式と歓迎レセプションが開かれた

カヌーのまちに向けて、さまざまな活動が行われています

5.25～9.29
週末カヌー教室

6.23
カヌー体験会

6.29、30
カヌー審判員資格講習会

6.30
みちのくひめかゆカップ